



LEGENDS OF ARTISAN

— 手仕事紡いだミライのカタチ —

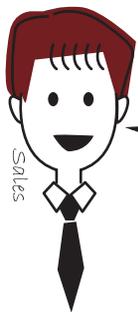
知って得する!?

トリアセテート麻調素材のおはなし

今回はトリアセテートの春夏の人気素材「麻調素材」について私たち3人がくわしくお話しさせていただきます。

知っていた方も知らなかった方もぜひ素材のお話を聞いてください。

きっと新しい発見があるはずですよ。



Sales

営業のMです。
トリアセテートの
販売をしています。



Technical

技術のYです。
トリアセテートの
糸から布、染めまで
開発をしています。



Designer

デザイナーのFです。
企画から色付け
製品作成をしています。

素材

のこだわり

さらりとした肌触りと独特の趣のある風合い。麻はその心地よさから、私たちの暮らしを彩ってきました。そんな麻の心地よさをそのままに、時代にフィットした素材へ進化させたのが「トリアセテート麻調素材」です。トリアセテートは通常の合成繊維とは異なり、天然の原料を含むことから、麻らしいさらりとした清涼感とナチュラルな質感が楽しめると同時に、シワになりにくく、洗濯を繰り返しても縮みにくいといった機能性を兼ね備えています。



天然繊維と合成繊維のいいとこどり、まさにトリアセテート麻調素材はおたがいのいいところを併せ持ったような快適で便利な素材です。

トリアセテート繊維は富山県で三菱ケミカル(株)のみが生産している Made In Japan の繊維です。その後、糸作り、生地作り、染めと、日本の繊維産地の技を結集して完成したまさにオンリーワンの素材といえますね。



技術

のこだわり

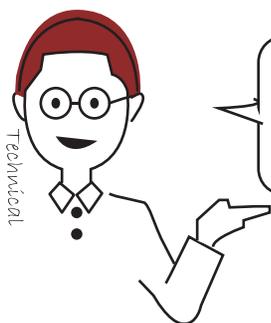
トリアセテートによる仮撚りスラブは、今から40年前に誕生しました。この素材は日本の繊維産地をめぐりながら熟練の職人たちの長年培った技術を駆使して作られた MADE IN JAPAN の素材です。特にこの麻調の糸は高速で大量生産の時代に反して、低速の機械を使いゆっくりと時間をかけて作るため、生地になると機械一台で一日約20疋しか作れません。

トリアセテートは天然のパルプを主原料とした半合成繊維で、非常に繊細な繊維のため気温や湿気の変化で微妙に変化が生じます。機械によって作られる糸ではあるものの、その繊細な違いが判断できるのは熟練した職人の五感がすべてです。

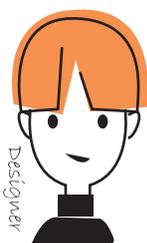
職人は自分の指や目で確かめながら、糸を作るスピードや撚りのかけ方などを調整し、美しい生地に仕上げることに心血を注いでいます。

トリアセテートスラブはそんな熟練した職人が育ててきた技術が独自の伝統となって受け継がれ、作り続けてきた商品なのです。

今できるすべての技術を盛り込み、これまで培ってきたノウハウが凝縮された麻調素材は手仕事で紡いだ唯一無二の未来の素材です。



この麻調の糸を作るのは昭和40年代に製造されたとても年季の入った機械が中心です。重厚な機械を長年にわたって大切に、丁寧に扱ってきたからこそ、今でも現役で活躍し続けています。機械ひとつひとつに対する細やかな愛情が、トリアセテートの確かなものづくりの原点であるのです。



はじめて工場見学に行ったときに、洗面台にハンドクリームが沢山置いてありました。職人さんたちは手がささくれ立って糸を傷めないようにハンドクリームでケアしながら糸を作っていました。そんな心遣いで丁寧に作られていることに感動しました！



トリアセテートの麻調素材は仮撚りスラブという手法で作っています。この仮撚りスラブについてちょっと勉強してみませんか？私がわかりやすく説明させていただきますね。

What is 仮撚りスラブ ???

トリアセテート原糸

仮撚りスラブ糸

※イラストはイメージです

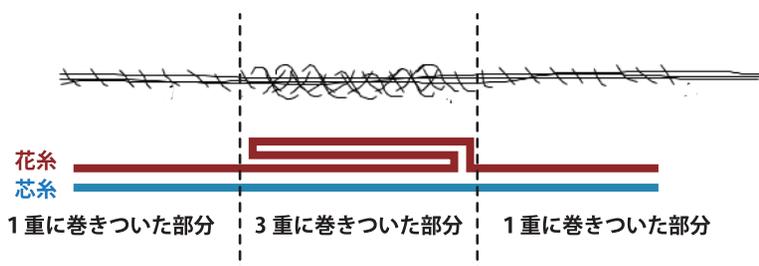
トリアセテートはなめらかでシルクのようなフィラメント糸です。それを何本か合わせて麻のように節のあるスパンのようでナチュラルな糸にしたものが仮撚りスラブ糸です。

仮撚り加工とは一旦撚りをかけた糸を熱でセットし、また撚りを戻すこと（ゼロになる）を連続的に行う手法です。仮に撚りを与えて戻すことから「仮撚り」と呼ばれています。仮撚り加工により捲縮（パーマのような形状）ができて、かさ高の糸が出来上がります。できた糸はウールの糸のようなので「ウーリー糸」とも言われています。仮撚りスラブは、その仮撚りされる糸に過供給した糸を巻き付けることで糸に凹凸をつける方法です。本来撚りを戻してゼロになるはずですが、凹凸の影響で沢山戻る部分と少ししか戻らない部分が出ることで撚りが入った糸を作ることができます。この撚りからさらっとした清涼感が生まれます。

例えばファージュ™ という麻調素材の糸は2本のフィラメント糸で仮撚りスラブ糸を作っています

①芯になる糸 ②花になる糸 という言い方をしています。

「芯になる糸」に「花になる糸」を巻き付けていくのですが、1本の仮撚りスラブの中に1重に巻きついた部分と3重に巻きついた部分が交互に作られていて、3重に巻き付いた部分が太くスラブの節のようになっています。



※イラストはイメージです

花糸が行って、戻って、行って、太い部分ができているんです。花糸は外側に配置されるので、ここにソアロン™を使うことでさらっとした格別な質感の麻調素材ができあがるんです。



それぞれの麻調素材によって何本のフィラメントで作っているか、またその糸の組み合わせを変えることによってさまざまな特徴のある麻調素材が出来上がっています。

人気の「アイアス™」は4本のフィラメント糸を合わせて仮撚りスラブ糸を作っていますが、この4本で作る仮撚りスラブの技術はおそらく世界中で新潟の糸加工場一社しか作れない技術だと思います！



世界に誇れる Made in Japan の技術力ですね！





トリアセテートの麻調素材には大きく6つのバリエーションがあります。
それぞれ特徴があり人気の素材となっています。

01 アイアス™

Mix Color



麻と見間違えるような麻カス表情を表現した人気商品。ミックス感のある染め分けと無地染めの両方に対応できる優れたもの。メンズでも人気です。

バリエーション ○ストレッチ版 ○ドライ版
○柄物 ○ジャージー

02 グランアイアス™

Mix Color



2021SSに向けた新素材。アイアス™の見え方をそのままにインパクトのある太織度でラスティック感を強調。コートなどのアウターにもお勧め。

03 ミニヨン™



約40年前に誕生し、今も現役の初代トリアセテート仮燃りスラブ。長年愛され続けるロングセラー商品

04 ファージュ™

Mix Color



ミニヨンに次ぎ誕生したシックアンドシンによるミックス感のある色表現が特徴のトリアセテート仮燃りスラブ

05 サネリア™

Voile



芯糸に分織糸を使って適度なハリ感と軽さを出した天然麻ボイル調シリーズ。

06 ソアロンティス™

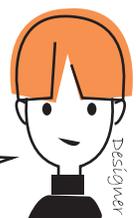
Silky



トリアセテート100%で作ったサスティナブルスラブ系を使用。上質な艶感がシルク麻のような雰囲気演出します。

バリエーション ○ブライトタイプ：ラミーボイル調
○フルダルタイプ：綿麻ボイル調

それぞれの素材でデザインした製品の写真も「麻調素材製品イメージ」からご確認くださいませ。お勧めのアイテムやディティールのポイントなどもコメントさせて頂いています。



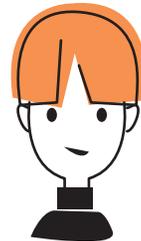
最後まで読んでいただきありがとうございました。

トリアセテート麻調素材のお話いかがでしたでしょうか？

私たちは日本の産地の皆様に支えられて、今日も物づくりを続けることができております。

コロナ危機においてファッション業界も大きな痛手を被っていますがこの事態が収束するその日まで、力を合わせて明るい未来へ一緒に進んで行きたいと願っています。

Go to the good future !



Thank you as always

掲載素材問い合わせ先

三菱ケミカル㈱

東日本支社 コンシューマープロダクツセグメント

TEL : 03-6748-7620(代表) 担当：村上